



昭和39年度の統計調査

各省委託調査として

総理府統計局

労働力調査、家計調査、小売物価統計調査等の経常調査については前年度通り。本年度は、昭和40年国勢調査の前年にあたり、国勢調査区の設定および諸準備調査が中心となる。国勢調査区の設定は、39年10月1日現在で昭和35年国勢調査区を修正するもので、全面的な設定替えではない。昭和40年国勢調査では、集計段階に光学式読取装置を導入して結果の早期公表をはかる。今まで3年かかった全数集計結果が1年半でできるというスピード・アップが可能となる。

全国消費実態調査は、昭和34年に第1回が行なわれ今回が2回目。9月から11月までの3か月間、農林漁家を除く全国約4万2千の消費世帯の家計簿から消費の実態を明らかにしようとするもの。

行政 管理 庁

地方統計職員の実務研修は前年と同様

経 済 企 画 庁

消費者動向予測調査、法人企業投資予測調査、同実績調査等前年通り

文 部 省

学校基本調査、学校保健統計調査は前年とおり。新規として学校給食調査、後期中等教育利用状況調査がある。

厚 生 省

国民栄養調査、国民生活実態調査は前年とおり。

農 林 省

1970年農業センサス迄のつなぎとして1965年中間農業センサスが40年2月に行なわれる。中間調査でも悉皆調査であり本年度統計事業の最大なもの。

新たに行うものとして、生鮮食料品の価格形成過程や流通過程の究明が目的で農産物流通統計調査が行なわれる。

通 産 省

2年に1度の商業統計調査のほか、特に新規事業はない。

運 輸 省

自動車輸送統計調査

労 働 省

賃金構造総合調査、雇用動向等実態調査、福利厚生施設調査、毎月勤労統計調査の抽出替が行なわれる。

単 県 調 査 と し て

農業基本調査、県民所得推計、常住人口調査、その他農林水産業、鉱工業生産、消費者物価指数等の作成を行う、本年度新たに諸地域との相互関係を商品流通面から明らかにし総合開発計画策定の基礎資料を提供するため商品流通調査を行う。

今年度実施予定の講習会

県並びに市町村の統計関係職員の資質の向上・統計機構の拡充強化等を目的として、今年も各種講習会が開かれますが、実施予定の主なものは次のとおりであります。詳細については確定次第お知らせいたします。

記

資格認定講習会 (第1次)	5月下旬	於水戸市
同 (第2次)	6月中旬	〃
地方統計講習会	9月下旬	〃
同	11月上旬	〃

統 計 協 会 総 会

昭和38年度県税統計協会総会が去る4月3日水戸市内水府荘で開かれた。審議は下記について行なわれたが、原案とおり承認可決された。

記

- 昭和37年度歳入歳出決算案件について。
- 昭和38年度歳入歳出追加更正予算承認について。
- 昭和39年度事業計画について。
- 昭和39年度歳入歳出予算案承認について。
- 会則の一部改正について。

統 計 協 会 か ら

発売されている各種出版物のうち、次のものは近く発売の運びとなりました。ご希望の方は至急お申込み下さい。(申込先は県統計協会)

1	38年版茨城県統計書	39年5月	¥ 1,200円
1	38年版茨城県勢要覧	39年3月	¥ 170円
1	38年版茨城県勢要図	39年5月	¥ 70円
1	統計だより(毎月)	毎月末日	¥ 5円

(送料実費)

編集室から

昨年12月号から本紙中の貴重な1頁をさいて、統計の交差点と題し統計に関するいろいろなニュースや解説等

また皆様からのご意見ご希望等を収載、統計関係の広場といたしたいと思います。建設的なご意見ご希望や報道など、どしどしお寄せ下さることを希望いたします。

第12回統計図表全国コンクール作品募集要領（抜萃）

毎年行なわれております標記のことについて、今年は全国統計大会の開催のこともあり早目に募集いたしません。希望の方は下記にご留意のうえご応募下さい。

記

- 主催** 財団法人全国統計協会連合会
協賛 財団法人矢野恒太記念会・株式会社電通
目的 国民に対する統計思想の普及向上と統計技術の研さんに資する。
応募資格 第1部（小学校の児童）第2部（中学校の生徒）
第3部（高校以上の学生・生徒）
第4部 一般
課題 図表の課題は各部とも自由とする。

材料規格

ただし、第1部の作品は、児童が観察した結果を図表化したものとする。

第1部、第2部の用紙規格は72.8cm×51.5cm（B列2判仕上寸法）

第3部、第4部の用紙規格は103cm×72.8cm（B列1判仕上寸法）

但し、各部とも紙質、色彩（単色可）その他の材料は自由。

締切日 昭和39年6月15日

送付先 各県統計協会あて。

なお詳細については各県統計協会まで御連絡下さい。

統計課人事異動

（昭和39年4月1日付）

転入者

新

庶務係
広報資料係

〃

企画係

農林統計係

労働統計係

〃

商工統計係

農林統計係

転出者

世話課

県立消防学校

秘書公聴課

堀口 弘

菊池 久美子

北条 登利子

庄司 和治

嶋田 貴代江

石川 治

小沢 民生

板橋 保夫

茂原 靖彦

鴨志田 一徳

中川 昭典

勝村 美佐子

旧

広報資料係

農林統計係

新採（39.1.25付）

商工統計係

新採（39.3.1付）

新採

〃

〃

〃

労働統計係

〃

農林統計係

☆近着統計資料案内☆

<不 定 期 刊 行 物>

資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者	資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者
人 口					
国勢調査報告(宮城県)	35年	総 理 府 統 計 局	市町村財政実態資料	37年度	県 地 方 課
〃 (岐阜県)	〃	〃	茨城県税務統計書	37年度	県 税 務 課
〃 (鳥取県)	〃	〃	開拓地営農実績調査書	37年度	県 拓 務 課
社会・労働			茨城県人事統計年報	38年度	県 総 務 課
労働力調査報告(概要)	38年	総 理 府 統 計 局	各都道府県		
国調従業・通学他に関する 結果速報(山口)	35年	〃	事業所統計調査結果速報	38年	愛 媛 県
〃 (岡山)	〃	〃	法人企業経済調査結果概要	37年	群 馬 県
経済・財政			栃木県のすがた	38年	栃 木 県
法人企業投資予測統計調査 報告	38年 下期	経済企画庁調査局	県民所得推計報告書	37年	群 馬 県
会社企業名鑑(37年版補遺)	37年版	総 理 府 統 計 局	主要経済指標	39年 2月	〃
法人企業投資実績統計調査 報告	37年度	経済企画庁調査局	果樹基本調査結果報告書	38年 2月	〃
法人企業統計年報	37年度	大蔵省理財局経済 課	愛媛県産業構造の解明	39年 2月	愛 媛 県
国民所得白書	37年度	経済企画庁経済研 究所	神戸市統計書	37年	神 戸 市 統 計 課
農村物価賃金調査報告書	37年度	農林省農林経済局 統計調査部	教育統計調査結果報告書	38年度	山 口 県
青果物市場調査報告	〃	〃	ボケツト統計表	39年版	東 京 都
漁業経済調査報告	38年	〃	工業統計調査結果報告	37年	神 奈 川 県
株式分布状況調査	37年度	大蔵省理財局統計 課	卒業後の状況調査報告	〃	大 阪 府 統 計 課
産 業			工業統計調査結果報告	〃	愛 媛 県
漁業養殖業漁獲統計表	37年	農林省統計調査部	東京郵政統計年報	37年度	東 京 郵 政 局
工業統計表	36年	通産大臣官房調査 部	学校保健統計調査報告	38年度	東 京 都
工業統計調査集計結果	37年	〃	農業基本調査結果報告書	〃	長 野 県
わが国の商業	38年	〃	工業統計調査結果の概要	37年	佐 賀 県
繊維関係商社名簿	39年版	通産大臣官房繊維 統計調査室	〃 結果表	〃	新 潟 県
漁業経済調査報告	37年度	農林省統計調査部	長崎県民所得報告書	〃	長 崎 県
家畜飼養の概況	〃	〃	鳥取県の経済構造	35年	鳥 取 県
事業所統計調査結果速報	38年	総 理 府 統 計 局	岐阜県経済と県民生活	38年	岐 阜 県
第36次農林省統計表	37年	農林省農林経済局 統計調査部	就業構造基本調査報告書	38年 7月	栃 木 県
茨城県			県民所得推計報告	37年	岩 手 県
生活保護統計年報	37年	県 社会福祉課	衛生統計年報	37年	奈 良 県
道路現況調書	38年 4月	県 道路補修課	青森県の姿	38年版	青 森 県
農業協同組合の現況	37年度	県 農業協同組合中 央会	京都市勢統計年鑑	〃	京 都 市
			教育統計調査結果	38年度	山 口 県



人間雑話 (20)

茨城大学教授 塚本勝義

職場だろうが家族だろうが、とにかく人間の集る所には必ず「誤解」が付き物だ。親しい間にもあるし、一面叢の中にもある。親子夫婦の仲にもくさるほどある。フランスのアランは「情念というものはまつたく困つたもので、人を誤りにしぼりつけてしまう」と言つてる。誤解の原因を感情方面に求めているようだが、誤解を生み出すものは決して感情だけではない。理性の面でも、もろもろの誤解を生み出している。いくら考えてみても、どうもあの男の正体は判りかねる——と言つた誤解（それが誤解である場合）は明らかに理性のもたらす誤解である。だから「誤解」の中味は、誤つた感じ方と誤つた理解の二つになる。また、誤解される方の利害で分類すると、損になる誤解と、得になる誤解とに分けられる。正義派なのに反逆児と見られるのは損する誤解である。のろまなのに沈着と見られるのは得する誤解の方である。

お互に得手勝手なもので、損するように誤解されるとそれは君の誤解だ、怪しからん誤解だなんて、大いにいきり立つんだが、得するような誤解なら、さも正解だといった態度で、にやにやしているのが常だろう。目の敵にされるのは損する誤解の方だけだ。

誤解によつて恋愛の破綻する場合も少ない。誤解のために子供のある夫婦仲でも割れることもある。誤解ひとつで昨日の親友が今日は犬猿の仲ともなるし、ちよとした誤解が材料になつて左遷される不運児だつてあるだろう。誤解の力はなかなか大きい。炎のような純愛を一瞬にして冷酷な憎悪に急変させる暴力を持つている。これらは、みんな損する方の誤解だが、不景気な面から眺めれば、確かに誤解は怖ろしい心のはたらきだ。しかし誤解のすべてが不景気であり、危険であり、怖ろしいものであるともいえない。たのもしくつて、嬉しくつて。朗らかで、元気が出て、むしろに幸福でたまらない建設的な誤解だつてざらにある。

町内の笑いものになつて亭主を三国一と思ひ込んでる誤解なんて、おめでたき限りだ。誤解が解けて、間拔亭主とはつきりしたら一日だつて持つまい。誤解しているからこそ借老同穴となれる。こんな夫婦にとつては、誤解さままでである。美しい恋愛だつて、誤解を完全に除去したら、とうてい実を結ばないのであろう。どんな知性人の恋愛つて、なにがしかの誤解が必ずものびいつ

ている。アバタモ笑くぼ——は地上のすべての男女の愛を支える偉大な力である。

人間は、人さまを誤解するだけでなく、御本尊の自分を相当に誤解している。そして、自己誤解の程度の高いほど元気がいいんだから皮肉であり愉快である。張り切つてるなんていう連中は、大てい自己誤解の過大の方とみてよいかも知れぬ。その造作と、その能力では、ろくな相手とめぐりあわぬことがはつきりしているのに、来年こそは、来年こそはとねぼとりつづける人なども自己誤解の典型だ。ところが、その悲劇的結論をもたらす誤解が、御本人にとつては、うれしい青春時代を形成するのだから、いよいよ誤解はありがたい心づかいだといえる。深刻な悲劇をバックとする美しい喜劇だともいえよう。

こんなわけで、誤解には弊害もあるし、利益もある。誤解のために沈む人もあるし、景気よく浮かび上がる人もある。正直のところを言えば、誰だつて、多少は誤解されて損していると共に誤解されて利益もあげているのだ。だから誤解を憎むなんて、およそ人間の実態を知らぬ乱暴な考え方だ。われわれは「誤解」を否定しないで「誤解」を素直に受けとめて、誤解と共に生き抜くべきであらう。

損になる誤解をされたつて相手を恨むのは愚である。損する誤解もまた人の世の付き物だと、じつくり受けとめて、じたばたしなければ、その被害を最少限度にくい止められよう。くだらん弁解などに狂奔すれば、いよいよ傷を深くするばかりだ。不思議にも誤解は言葉では容易に解けないものだ。誤解を解く最短の道は行為であり行動である。言いわけでなくつて実践実行である。

得になりそうな誤解なら、悠々としているがいい。心すべきことは、調子に乗つて、のぼせないことだ。のぼせて誤解による利益の拡大などを図ると、折角、得する誤解をちよだいしながら、一朝にして損する誤解に急変させるおそれもある。

損する誤解をされても腹を立てず、得する誤解をされてもうぬぼれなかつたら、この人生に生きることも、いよいよ面白くなる。生きるに甲斐ある娑婆となる。こんな生き方が現実的で、そして積極的な生き方といえるだろう。